

臨床に直結する講演内容

日時:平成23年11月6日(日)
場所:六本木アカデミーヒルズ



清水宣貴 (神奈川県)

平成23年11月6日(日)、アカデミーヒルズ49階タワーホール(六本木ヒルズ内)にて、第25回アジア口腔インプラント学会(AOIA)が開催されました。

あいにくの曇りで、49階の窓からの景色はあまり遠くまで見えませんでしたが、多くの先生方にご出席いただき第25回学会が大盛況のもと執りおこなわれました。

始めに深井眞樹大会長の開会の辞、続いて、井上達会長との挨拶が行われ、アジアからインプラントの最新情報を発信し、世界をリードしていくという意気込みを感じました。

日本インプラント臨床研究会からは会長である井汲憲治先生、鈴木仙一先生、水口稔之先生、急遽来日できなくなったDr.Ye Linの代わりに田中讓治先生が演者として参加し、研究結果や新しい手術法、最新の技術など講演していただき非常に勉強になりました。

また座長として松下和彦先生、中野喜右人先生にも参加していただきました。

新潟再生歯学研究会からは杉山貴彦先生、日本歯科先端技術研究会からは築瀬武史先生、大学からは東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学分野准教授 塩田真先生が演者として参加していただき、海外からはフィリピンのナショナル・ユニバーシティー歯学部学部長Dr.Joseph D.Lim ドイツのヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学補綴科准教授 Dr.Paul Weigl 台湾の成功大学病院口腔外科非常勤講師、台湾インプラント学会理事 李明科先生が講演してくださいました。

台湾の李明科先生は通訳を介さずに日本語でみ



ごとに発表をされており、ものすごいパワーを感じました。

ランチョンセミナーは歯科衛生士の柏井伸子さんが感染管理の講演、また日本口腔インプラント学会関東甲信越支部長 相浦洲吉先生や新潟再生歯学研究会の榎本紘昭先生も座長として参加していただきました。

非常に濃い内容で、今回参加された先生方は臨床に直結するような話を聞くことができののではないのでしょうか。

また参加できなかった先生も来年はぜひ参加し、AOIAをさらに盛り上げていきましょう。